

# お手入れと保管について

## 毛布本体の洗たく

この毛布は、ヒーターが入ったまま丸ごと手洗い(押し洗い)ができます。必ず、次の手順や注意事項を守って洗たくしてください。



## 洗たく手順

### 1. 《準備》

- 毛布本体からコントローラーをはずします。  
(コントローラーは洗わないでください。)
- 毛布本体をたたみます。
- 毛布が洗える大きさの容器にぬるま湯(30℃以下)を用意し、洗たく用の中性洗剤をとかします。

■次のことは絶対にやめてください。  
(発熱体を傷めたり、温度調節機能が正常に働かなくなり危険です。)

- ドライクリーニング
- ねじりしづり
- 漂白剤の使用
- アイロンがけ
- 道具を使用する洗い  
(へら洗い、たたき洗いなど)
- 強制乾燥(乾燥機の使用や通電しながらの乾燥など)



## コントローラーとコードのお手入れ

- 汚れたときは台所用中性洗剤を水にうすめて、布に含ませ、かたくしほってからふきとてください。(ベンジン・シンナーなどの使用はやめてください。)
- 長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふき取ってからご使用ください。

## 保管のしかた

- 毛布本体はよく乾燥させて、お手持ちの箱に入れ、湿気の少ないところに保管してください。
- ナフタリンなどの防虫剤はコントローラーや発熱線を傷めますので絶対に使用しないでください。

### 2. 《手洗い》

毛玉ができることがありますので、丁寧に洗濯してください。

- 容器に毛布本体を入れ、押し洗いをします。  
※汚れがひどい場合は二度洗いしてください。

### 3. 《すすぎ》

- 洗うときと同じ要領で洗剤が残らないように充分にすぎます。
- 静電気防止用に柔軟仕上剤を使用してください。
- コネクター受け部のみ再度水道水で洗います。

### 4. 《脱水》

- 浴槽のふちなどにかけて水をきます。

### 5. 《乾燥》

●日影で風通しのよい場所で乾かしてください。

- コネクター受け付近と内部が完全に乾いていることを確認してください。

### 6. 《確認》

- 毛布本体の発熱線によじれがないか光にすかして見て確認してください。異常があった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

#### ●すぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

#### ※ (洗たく機での洗たく)

#### 必ずネットをご使用ください。

#### ●ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

#### ●必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

#### また、洗たく機の取扱説明書も必ずお読みください。

#### ●他の洗たく物といっしょに洗わないでください。

# 安全上のご注意

この電気毛布は、就寝用暖房器具として使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対にしないでください。  
この用途以外（観賞魚・植物・ペット用など）及び一般家庭用以外（業務用など）でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 絵表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『危険』『警告』『注意』の3つに分けてお知らせしています。  
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**危険** 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う、さし迫った危険の発生が想定される内容を示します。

**警告** 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

**注意** 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。  
(下記は絵記号の一例です。)

※記号の中の絵が具体的な内容になります。

してはいけない『禁止』 **必ず実行していただく内容です。** **『強制』内容です。**

拔く 使用時以外または、何か異常があった場合、すみやかに差込みプラグをコンプラグをセントから抜いてください。

●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

ぬれ手で差込みプラグ、コントローラなどを絶対にさわらないでください。また、水やお茶等の液体をこぼさないでください。

●万一濡らしたときは、過熱や事故のおそれがありますのでただちにご使用を中止し、販売店に点検を依頼してください。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。

●感電やショートして発火することがあります。

他の暖房器具と併用しないでください。  
(湯たんぽ・カイロ・あんか・他の電気毛布との同時使用など) 発熱体を傷め、過熱することがあります。

●発熱体やコードを傷め、過熱することがあります。

アイロン台として使用したり、他の加熱物を置かないでください。  
●熱で本体(発熱体)を傷め、発火することがあります。

針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけないでください。

●本体を傷め、故障や感電の原因となります。

ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。

●故障や事故の原因となります。

ベンジン、シンナー、灯油などの揮発性のものを上にのせないでください。

●火災の原因となります。

犬や猫などのペットの暖房用には絶対に使用しないでください。

●ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となることがあります。

リモコンやパソコンなどの電子機器を上にのせないでください。

●電子機器の故障の原因となります。

ラベルの矢印に合わせて毛布を広げます。

●毛布に縫い付けられているラベルの矢印方向を胸元側にして、シワにならないように広げます。(足元側は胸元側より暖かくなります。)

1日に1回必ず広げ直して、しわ・折り重ねをなくしてください。

●低温やけどのおそれがあります。また、局部保温により毛布表面やふとん等が変色したり故障の原因になります。

コネクターを受け

●お手持ちのシーツやふとんカバーをかけてください。(シーツやふとんカバーを換えるだけで清潔さが保て、汚れ防止や毛玉の発生が少なくなります。)

針や安全ピンなどでカバーと毛布本体を固定しないでください。

●故障や感電の原因になります。

「コネクター」を取り付けます。

●コネクターの向きを確かめて切り込みに合わせてコネクター受けの奥まで確実に差し込んでください。また、ゴミや針などの導通性のものが、コネクターにさみ込まれないように注意してください。

※コントローラーは・・・ふとんの外に置いてください。

他の発熱器具よりはなしてください。踏みつけたり落ちやすいところには置かないでください。

「差込みプラグ」をコンセントに差し込みます。

●交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

●コードはたばねたまま使用しないでください。

『電源/温度調節ツマミ』を『強』にして予熱します。

●『電源ランプ』が点灯します。

●おやすみになる1時間ぐらい前(冷え込みが厳しいときは2時間ぐらい前)から『電源/温度調節ツマミ』を『強』に合わせ通電しておいてください。

あらかじめふとんを暖めておくと心地よくおやすみになります。

おやすみのときは、低めの目盛り『弱』に合わせます。

●安眠に適した温度は、体质・ねまき・寝具などによって異なります。

●さわやかに目覚められるように調節してください。

毛布本体を折りたたみ、コネクター受けにコントローラーのコネクターを差し込みます。

毛布本体をビニール袋に入れて、ビニール袋の開口部を閉じます。(コネクターをはずす時は必ず先にコントローラーの『電源/温度調節ツマミ』を『切』にして、差込みプラグを抜いてください。)

外出時などには、差込みプラグが抜いてあることを確認してください。

●ふとんなどの一番上におしまいください。

(毛布本体の上に重いものを置きますと発熱体を傷めることができます。)

ダニ退治のしかた

ダニ退治終了後、ビニール袋から本体を取り出し、掃除機をかけて、風通しのよいところで自然乾燥させてください。

# 各部の名称と使い方

## 各部の名称と正しい使い方

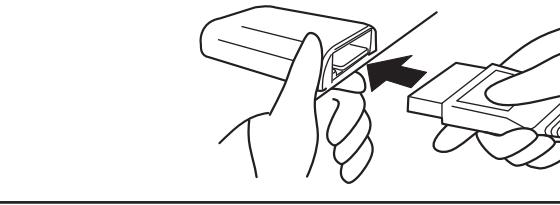


1

「ラベル」の矢印に合わせて毛布を広げます。

●毛布に縫い付けられているラベルの矢印方向を胸元側にして、シワにならないように広げます。(足元側は胸元側より暖かくなります。)

1日に1回必ず広げ直して、しわ・折り重ねをなくしてください。  
●低温やけどのおそれがあります。また、局部保温により毛布表面やふとん等が変色したり故障の原因になります。

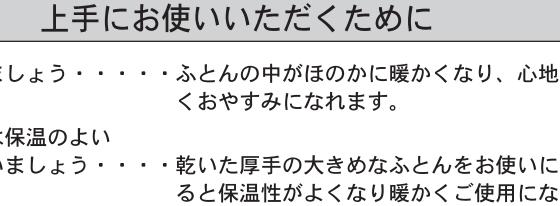


2

「コネクター」を取り付けます。

●コネクターの向きを確かめて切り込みに合わせてコネクター受けの奥まで確実に差し込んでください。また、ゴミや針などの導通性のものが、コネクターにさみ込まれないように注意してください。

※コントローラーは・・・ふとんの外に置いてください。  
他の発熱器具よりはなしてください。踏みつけたり落ちやすいところには置かないでください。

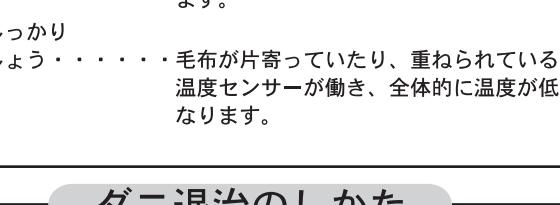


3

「差込みプラグ」をコンセントに差し込みます。

●交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

●コードはたばねたまま使用しないでください。



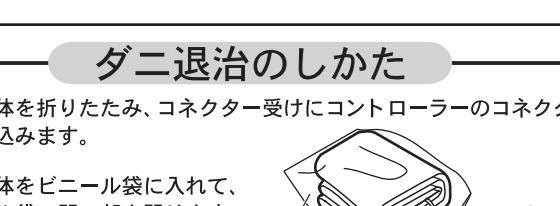
4

『電源/温度調節ツマミ』を『強』にして予熱します。

●『電源ランプ』が点灯します。

●おやすみになる1時間ぐらい前(冷え込みが厳しいときは2時間ぐらい前)から『電源/温度調節ツマミ』を『強』に合わせ通電しておいてください。

あらかじめふとんを暖めておくと心地よくおやすみになります。

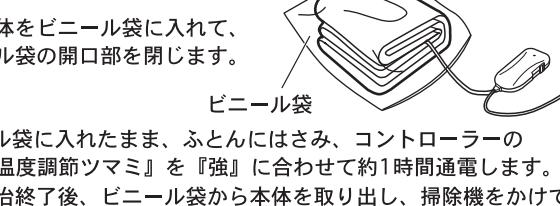


5

おやすみのときは、低めの目盛り『弱』に合わせます。

●安眠に適した温度は、体质・ねまき・寝具などによって異なります。

●さわやかに目覚められるように調節してください。



6

使い終わりましたら

●コントローラーの『電源/温度調節ツマミ』を『切』にして、差込みプラグを抜いてください。

●毛布本体をビニール袋に入れて、ビニール袋の開口部を閉じます。(コネクターをはずす時は必ず先にコントローラーの『電源/温度調節ツマミ』を『切』にして、差込みプラグを抜いてください。)

●外出時などには、差込みプラグが抜いてあることを確認してください。

●ふとんなどの一番上におしまいください。

(毛布本体の上に重いものを置きますと発熱体を傷めることができます。)

●電子機器の故障の原因となります。